

# 学習の指針

教科名	国語科	学年	1年
-----	-----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- 社会生活において必要な国語の知識や技能を身に付ける。  
(相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く力、課題解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるなど)
- 感じたことや考えたことを、自分の言葉で伝え合う(話す・聞く)力をつける。
- 読解力をつけ、考える力をつける。
- 古典に親しみ伝統文化を知る。常用漢字の読み書きができ、社会生活に活用できる力を身に付けさせる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふしぎ</li> <li>・聞くということ</li> <li>・桜蝶</li> <li>・ベンチ</li> <li>・持続可能な未来を創るために</li> <li>・森には魔法使いがいる</li> </ul> <p>*新出漢字 *漢字の広場 *読書 *</p> <p>文法 *作文 *日本語の小窓 *情報メディアと表現 *スピーチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのふしぎについて考える。</li> <li>・登場人物の心情や行動の変化に着目し、作品理解を深める。</li> <li>・スピーチを聞き合い、思いを伝え合う。</li> <li>・筆者のものの見方や考え方を捉える。</li> <li>・日本語のもつ音の特徴を理解する。</li> <li>・漢字の部首について理解する。</li> <li>・本や文章から必要な情報を集める方法を身に付ける。</li> <li>・言葉の単位を理解する。</li> <li>・写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。集めた材料を分類・整理して伝えたいことを明確にする。</li> <li>・日本語を書き表す文字の特徴を理解する。文の成分の役割について理解する。</li> </ul>	<p>漢字テスト 感想文、聞き取りテスト スピーチの発表内容 定期テスト、文法小テスト 授業中の発表、ノート点検 音読する態度、聞く態度 自主学習の取り組み</p>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔話と古典 ・竹取物語</li> <li>・故事成語 ・蜘蛛の糸</li> <li>・河童と蛙</li> <li>・オツベルと象</li> <li>・子どもの権利</li> <li>・言葉がつなぐ世界遺産</li> <li>・地域から世界へ</li> <li>・四季の詩</li> <li>・少年の日の思い出</li> </ul> <p>*新出漢字 *漢字の広場 *読書 *</p> <p>文法 *作文 *日本語の小窓 *情報メディアと表現 *スピーチ *書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名遣いのきまりを理解する。</li> <li>・漢文訓読のきまりを理解する。</li> <li>・わが国を代表する近代文学の作家と作品にふれる。</li> <li>・場面と人物の対応を捉えて読む。</li> <li>・作品の構成や展開、表現の特徴について自分なりの考えを持つ。</li> <li>・要約したり、要旨を捉えたりする。</li> <li>・いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。</li> <li>・詩に描かれたイメージを想像する。</li> <li>・自立語と付属語、活用の有無を理解する。</li> <li>・熟語の構成の基本形を知る。</li> <li>・登場人物の心情の変化を捉える。</li> </ul>	<p>漢字テスト 提出物、短作文、意見文 話し合い活動の取り組み 聞き取りテスト、定期テスト、ノート文法小テスト、授業中の発表 語句表現を捉えて解説する力 自主学習の取り組み</p>

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール(約束)・持ち物・宿題について

- 休み時間に学習用具の準備をしておくこと。・忘れ物をしてしまった場合は授業前に申し出る。
- 目を使って聞き、頭を使って話す。・提出物の期限を守ること。・ていねいに書くこと。・積極的に読書する。
- 目標・自己評価・振り返りを大切にして、毎時間積み重ねていくこと。・情報を整理して要点を読み取ろうとする姿勢。

## 4、評価について

○知識・技能：定期テスト、課題、小テスト（漢字、文法、国語に関する知識等）

○思考・判断・表現：ノート、定期テスト、課題、小テスト（話す・聞く力、書く力、読む力）

○主体的に学習に取り組む態度：課題、授業中の取り組み、ノート（継続的・計画的に自ら学ぶ姿勢）、自主学習

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの（80%以上～100%）

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの（40%以上～80%未満）

C：「努力を要する」状況と判断されるもの（40%未満）

# 学習の指針

教科名	国語科	学年	2年
-----	-----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- 社会生活において必要な国語の知識や技能を身に付ける。  
(相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く力、課題解決に向けて話し合う力を身に付けさせるなど)
- 感じたことや考えたことを、自分の言葉で伝え合う(話す・聞く)力をつける。
- 読解力をつけ、考える力をつける。
- 古典に親しみ伝統文化を知る。常用漢字の読み書きができ、社会生活に活用できる力を身に付けさせる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>虹の足</li> <li>いろいろな立場や考え方踏まえる</li> <li>タオル</li> <li>まちがえやすい漢字</li> <li>日本の花火の楽しみ</li> <li>水の山富士山</li> <li>活用のない自立語</li> <li>課題を設定して伝える</li> <li>新聞の投書を書く</li> <li>敬語</li> <li>手紙</li> <li>メールを整える</li> <li>話し言葉と書き言葉</li> <li>類義語、対義語、多義語、同音語</li> <li>相違点を明確にして聞く</li> <li>SNSから自由になるために、脚本で動きを説明する</li> <li>夢を跳ぶ</li> <li>夏の葬列</li> <li>漢字の成り立ち</li> <li>持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抽象的な概念を表す語句に注意して読む。</li> <li>登場人物の言動の意味などを考えながら内容を読み取る。</li> <li>表現の仕方に着目して説明の文章を読み、内容について自分の考えをまとめる。</li> <li>文章の構成や展開の根拠を明確にして読み取る。</li> <li>活用のない自立語について理解する。</li> <li>文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして文章をまとめられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字小テスト</li> <li>感想文</li> <li>ワークの提出、短作文</li> <li>聞き取りテスト</li> <li>スピーチの発表内容</li> <li>定期テスト</li> <li>授業中の発表</li> <li>ノート点検</li> <li>自己評価表点検</li> <li>読書感想文、課題作文</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な未来を創るために</li> <li>構成を明確にして説明文を書く</li> <li>紙の建築</li> <li>敦盛の最期・隨筆の味わい</li> <li>二千五百年前からのメッセージ</li> <li>行書</li> <li>お札の手紙を書く</li> <li>短歌の味わい</li> <li>ガイアの知性</li> <li>走れメロス</li> <li>豚</li> <li>学びのチャレンジ</li> <li>学ぶ力</li> <li>活用のある自立語</li> <li>坊っちゃん</li> <li>漢字の多義性</li> <li>確かな根拠をもとに意見文を書く</li> <li>さまざまな考え方踏まえ討論をする</li> <li>付属語のいろいろ</li> <li>「連作ショートショート」を書く</li> <li>同音の漢字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の意味を正確に捉え、筆者のものの見方や考え方に対して自分の考えをもつ。</li> <li>古語のリズムや響きに注意して音読する。</li> <li>行書の書体を書けるようにする。</li> <li>文章の構成や展開の特徴について根拠を明確にして、自分の考えをまとめる。</li> <li>短歌の形式について知り、作者の思いを捉える。</li> <li>語りかける言葉を捉える。</li> <li>登場人物の心情や言動を捉え、人間の生き方について考える。</li> <li>筆者からの問題提起を受け止め、考えた事をまとめること。</li> <li>用言の活用形を理解する。</li> <li>全編を読み、あらすじを捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字小テスト</li> <li>ワークの提出、鑑賞文</li> <li>聞き取りテスト</li> <li>スピーチの発表内容</li> <li>定期テスト</li> <li>聞き取りテスト</li> <li>200字作文</li> <li>授業中の発表</li> <li>ノート点検</li> <li>自己評価表点検</li> <li>持ち物などの授業準備</li> <li>暗誦への取り組み等</li> </ul>

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

2分前に着席し、漢字の自主学習に取り組む。授業中は私語や居眠り、授業妨害などをしない。

忘れ物をせず、しっかりした授業準備をする。提出物の期限を守る。

音読は、理解につながるように丁寧に大きな声で工夫する。

全員で課題や目標を達成できるように努力する。

## 4、評価について

○知識・技能：定期テスト、課題、小テスト（漢字、文法、国語に関する知識等）

○思考・判断・表現：定期テスト、課題（スピーチ、作文、読解）

○主体的に学習に取り組む態度：課題、授業中の取り組み・振り返り（継続的・計画的に自ら学ぶ姿勢）

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの（80%以上～100%）

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの（40%以上～80%未満）

C：「努力を要する」状況と判断されるもの（40%未満）

# 学習の指針

教科名	国語科	学年	3年
-----	-----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・社会生活において必要な国語の知識や技能を身に付ける。  
(相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く力、課題解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるなど)
- ・感じたことや考えたことを、自分の言葉で伝え合う(話す・聞く)力をつける。
- ・読解力をつけ、考える力をつける。
- ・古典に親しみ伝統文化を知る。常用漢字の読み書きができ、社会生活に活用できる力を身に付けさせる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	「春に」 「立ってくる春」「なぜ物語が必要なのか」「情報を確かめてスピーチをする」「私」「薔薇のボタン」「吳音・漢音・唐音」「熟字訓」「AIは哲学できるか」「async同期しないこと」「問い合わせる言葉」「助詞のはたらき」「旅への思い—芭蕉と『おくのほそ道』—」	・言葉の中の春を読む。 ・文章の展開に着目して、筆者の考えを捉える。作品を読み、自分の意見を持つ。 ・漢字の歴史を理解する。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の意見を述べる。 ・事例と主張とを関係づけて読む。 ・助詞のはたらきを理解する。 ・歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	・授業中の話す態度、聞く態度 ・定期テストの内容 ・課題に対する参加する態度 ・発表する態度 ・ノート点検 ・表現形態や表現技法を理解して詩や文章を読んでいるか。 ・難語。句や新出漢字を積極的に調べようとしているか。 ・文法の既習内容が理解しているか。
後期	和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集— 風景と心情—漢詩を味わう— 異字同訓・慣用句・ことわざ 俳句の味わい 「初恋」 行書 故郷 まとめ問題	・和歌の技法を理解しながら、歌のリズムを味わう。 ・詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。 ・語彙を豊かにする。 ・言葉の意味を掘り起こして読む。 ・表現上の工夫に注意して、暗唱する。 ・書き初めにむけて練習をする。 ・希望について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。 ・義務教育の課程の総復習をする。	・授業中の話す態度、聞く態度 ・定期テストの内容 ・課題に対する参加する態度 ・音読する態度 ・書写活動 ・ノート点検 ・古典に关心や意欲を持って、その読み解きや鑑賞に積極的に取り組んでいるか。 ・行書の特徴を理解し、その技法を習得しようと努力しているか。

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール(約束)・持ち物・宿題について

2分前に着席し、漢字や文法など自主学習に取り組む。授業中は私語や居眠り、授業妨害などをしない。忘れ物をせず、しっかりした授業準備をする。提出物の期限を守る。音読は、理解につながるように丁寧に大きな声で工夫する。最後まで仲間を見捨てず、全員で課題や目標を達成できるように努力する。

## 4、評価について

- 知識・技能：定期テスト、課題、小テスト(漢字、文法、国語に関する知識等)
- 思考・判断・表現：ノート、定期テスト、課題、小テスト(話す・聞く力、書く力、読む力)
- 主体的に学習に取り組む態度：課題、授業中の取り組み、ノート(継続的・計画的に自ら学ぶ姿勢)
  - A：「十分満足できる」状況と判断されるもの(80%以上～100%)
  - B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(40%以上～80%未満)
  - C：「努力を要する」状況と判断されるもの(40%未満)

# 学習の指針

教科名	社会科	学年	1年
-----	-----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・基本的な知識技能の習得に向けた学習の計画を自ら立て、定着を目指す。
- ・単元ごとに振り返りを実施し、知識の定着を図り、表現する力を養う。
- ・ICT (Chromebook) を活用した協働的学習の場面で、言語活動を通して身に付けた知識を活用し、伝える力を養い、広い観点から思考を深める。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	<地理> ・世界のすがた ・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域 ・地域調査の手法	・様々な角度から、世界のすがたを見ることを通して、地理的な見方や考え方を養う。 ・世界の国々に対して興味や関心を持ち、自ら調べようとする姿勢を養う。 ・世界の諸地域について、テーマにそって調べ、発表する。	・定期テスト ・レポート、自主学習ページ ・ノート、ワークなどの提出物 ・授業への取り組み ・プレゼン、論述テスト ・予習用プリント、ワークシート
後期	<歴史> ・古代までの日本 ・中世の日本	・歴史の流れについて理解する。 ・様々な史料をもとに、時代の変化について考える。 ・歴史の流れについて理解する。 ・様々な史料をもとに、時代の変化について考える。	・定期テスト ・レポート、自主学習ページ ・ノート、ワークなどの提出物 ・授業への取り組み ・プレゼン、論述テスト ・予習用プリント、ワークシート

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・授業の始まりと終わりの挨拶をしっかりととする。
- ・時間を守る。（2分前着席、提出物の期限など）
- ・忘れ物をしない。（教科書、資料集、地理の場合は地図帳、ノートなど）
- ・毎時間の予習ワーク、課題については、授業担当からの指示をよく聞き、根気強く取り組む。
- ・Chromebook利用時に機器や情報の取り扱いに十分注意する。

## 4、評価について

○知識・技能 : 定期試験の得点、小テストの得点、授業内での課題 などから

○思考・判断・表現 : 定期試験の得点、小テストの問題、

授業内での課題（レポート、短作文、意見文等） などから

○主体的に学習に取り組む態度：予習、課題の取り組み、小テストの得点、学習の振り返りなどから

◎各観点到達度の割合

A : 「十分満足できる」状況と判断されるもの (80%以上～100%)

B : 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの (40%以上～80%未満)

C : 「努力を要する」状況と判断されるもの (40%未満)

# 学習の指針

教科名	社会科	教科名	2年
-----	-----	-----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- 基本的な知識技能の習得に向けた学習の計画を自ら立て、定着を目指す。
- 単元ごとに振り返りを実施し、知識の定着を図り、表現する力を養う。
- ICT(Chromebook)を活用した協働的学習の場面で、言語活動を通して身に付けた知識を活用し、伝える力を養い、広い観点から思考を深める。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	<地理>  ・日本の地域的特徴と地域区分 ・日本の諸地域	・様々な角度から、日本の姿を見る ことを通して、地理的な見方や考え方を養う。  ・日本の諸地域について興味や関心を持ち、自ら調べようとする姿勢を養う。	・定期テスト ・レポート、自主学習ページ ・ノート、ワークなどの提出物 ・授業への取り組み ・プレゼン、論述テスト ・予習用プリント、ワークシート ・人権に関する作文
後期	<歴史>  ・近世の日本 ・開国と近代日本の歩み	・歴史の流れについて理解する。 ・様々な史料をもとに、時代の変化について考える。	・定期テスト ・レポート、自主学習ページ ・ノート、ワークなどの提出物 ・授業への取り組み ・プレゼン、論述テスト ・予習用プリント、ワークシート

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・授業の始まりと終わりの挨拶をしっかりととする。
- ・時間を守る。（2分前着席、提出物の期限など）
- ・忘れ物をしない。（教科書、資料集、地理の場合は地図帳、ノートなど）
- ・毎時間の予習ワーク、課題については、授業担当からの指示をよく聞き、根気強く取り組む。
- ・Chromebook利用時に機器や情報の取り扱いに十分注意する。

## 4、評価について

○知識・技能 : 定期試験の得点、小テストの得点、授業内での課題 などから

○思考・判断・表現 : 定期試験の得点、小テストの問題、  
授業内での課題（レポート、短作文、意見文等） などから

○主体的に学習に取り組む態度：予習、課題の取り組み、小テストの得点、学習の振り返りなどから

◎各観点到達度の割合

A : 「十分満足できる」状況と判断されるもの (80%以上～100%)

B : 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの (40%以上～80%未満)

C : 「努力を要する」状況と判断されるもの (40%未満)

# 学習の指針

教科名	社会科	学年	3学年
-----	-----	----	-----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・基本的な知識技能の習得に向けた学習の計画を自ら立て、定着を目指す。
- ・単元ごとに振り返りを実施し、知識の定着を図り、表現する力を養う。
- ・ICT (Chromebook) を活用した協働的学習の場面で、言語活動を通して身に付けた知識を活用し、伝える力を養い、広い観点から思考を深める。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	<p>〈歴史〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立憲政治への歩み</li> <li>・日清・日露戦争と近代産業</li> <li>・二度の世界大戦と日本</li> <li>・現代の日本と世界</li> </ul> <p>〈公民〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活と現代社会</li> <li>・人権の尊重と日本国憲法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由民権運動から立憲国家が成立するに至る過程について理解する。</li> <li>・日清、日露戦争から日本の近代産業の進展を関係させ、理解を深める。</li> <li>・第二次世界大戦後の日本の民主化と再建、国際社会への復帰への理解を深める。</li> <li>・自分たちが生きる現代社会を概観し、学ぶことで、その特色に気づく。</li> <li>・日本国憲法の基本原理についての理解を深め、人権尊重についての考え方を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・レポート、自主学習ページ</li> <li>・ノート、課題などの提出物</li> <li>・授業への取り組み</li> <li>・プレゼン、論述テスト</li> <li>・予習用プリント、ワークシート</li> <li>・京都、大阪万博に関する基礎知識（神社仏閣などについて）</li> <li>・時事問題に対する自分の考えや関連事項について調べたもの</li> <li>・税に関する作文</li> </ul>
後期	<p>〈公民〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の民主政治と社会</li> <li>・私たちのくらしと経済</li> <li>・地球社会とわたしたち</li> <li>・よりよい社会をめざして</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事例を通じて現代日本の政治に关心を持ち、すすんで政治に関わっていくこうとする気持ちを持つ。</li> <li>・個人と社会との関わりを客観的にとらえ、経済についての見方や考え方の基礎を身に付ける。</li> <li>・国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の拡大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・レポート、自主学習ページ</li> <li>・ノート、課題などの提出物</li> <li>・授業への取り組み</li> <li>・プレゼン、論述テスト</li> <li>・予習用プリント、ワークシート</li> <li>・時事問題に対する自分の考えや関連事項について調べたもの</li> </ul>

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・授業の始まりと終わりの挨拶はしっかりとする。
- ・時間や提出物の期限は厳守する。
- ・忘れ物をしない。（教科書、資料集、ノート）
- ・毎時間の予習プリントや課題は、授業担当からの指示をよく聞き、自力で取り組む。
- ・Chromebook 利用時に機器や情報の取り扱いに十分注意する。
- ・ワーク学習や自主学習ページは、計画的かつ丁寧に取り組む。

## 4、評価について

- 知識・技能：定期試験の得点、小テストの得点、授業内の課題 等から
- 思考・判断・表現：定期試験の得点、授業内の課題、授業内での課題（レポート、短作文、意見文等）、論述テスト 等から

- 主体的に学習に取り組む態度：予習や課題の取り組み、ワークの取り組み、時事問題 等から
- 各観点到達度の割合

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの (80%以上～100%)

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの (40%以上～80%未満)

C：「努力を要する」状況と判断されるもの (40%未満)

# 学習の指針

教科名	数学科	学年	1年生
-----	-----	----	-----

## 1、教科学習の目標・ねらい

基礎基本を定着させ、グループ学習を通して自分の考えを伝えられるようにする

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	<ul style="list-style-type: none"><li>・正負の計算</li><li>・文字と式</li><li>・1次方程式</li><li>・比例・反比例</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・正の数と負の数の必要性と意味を理解し、処理したり、具体的な場面で活用したりすることができる。</li><li>・数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表したり、読み取ったりすることができる。</li><li>・等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を理解し、考察し表現することができる。</li><li>・比例、反比例を表、式、グラフなどに表したり、その特徴を見いだしたりすることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・小テスト、単元テスト</li><li>・プリント</li><li>・レポート</li><li>・ワーク</li><li>・定期テスト</li></ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"><li>・平面図形</li><li>・空間図形</li><li>・資料の活用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。</li><li>・空間における直線や平面の位置関係を理解し、扇形の弧の長さと面積や基本的な立体の表面性と体積を求めることができる。</li><li>・データを収集し、ヒストグラムや相対度数などに表し、傾向を読み取ることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・小テスト、単元テスト</li><li>・プリント</li><li>・レポート</li><li>・ワーク</li><li>・定期テスト</li></ul>

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・毎時間の目標・課題と、まとめをしっかりと意識して授業を受ける。
- ・ノートは、ただ記録するのではなく、自分の理解を助けるツールになるようなものにする。
- ・持ち物：教科書、ワーク、ノート、Chromebook、三角定規、コンパス

## 4、評価について

○知識・技能：定期テストやその他授業中に行った小テスト、課題等

○思考・判断・表現：定期テストやその他授業中に行った小テスト・課題、学び合い学習への取り組み等

○主体的に学習に取り組む態度：学び合い演習での取り組み、提出物の内容、授業中の取り組み等

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの（80%以上～100%）

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの（40%以上～80%未満）

C：「努力を要する」状況と判断されるもの（40%未満）

# 学習の指針

教科名	数学科	学年	2年
-----	-----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

基礎基本を定着させ、グループ学習を通して自分の考えを伝えられるようにする

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	式の計算 連立方程式 1次関数	<ul style="list-style-type: none"><li>文字を用いた式や連立方程式についての基礎を理解し、数学的に表現、処理をすることができる。</li><li>文字式や連立方程式を用いて数量の関係を考察、表現し、その良さを実感して活用できる。</li><li>1次関数や平面図形、数学的な推論についての基礎を理解し、数学的に表現、処理をすることができる。</li><li>関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察、表現することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>定期テスト</li><li>単元テスト</li><li>小テスト</li><li>課題への取り組み</li></ul>
後期	図形の性質の調べ方 三角形・四角形 確率 データの分布	<ul style="list-style-type: none"><li>図形の性質や関係を論理的に考察し表現することができる。</li><li>確率についての基礎を理解し、事象を数学化して考察、表現、処理をすることができる。</li><li>複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り考察することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>定期テスト</li><li>単元テスト</li><li>小テスト</li><li>課題への取り組み</li></ul>

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・毎時間の目標・課題と、まとめをしっかりと意識して授業を受ける。
- ・ノートは、ただ記録するのではなく、自分の理解を助けるツールになるようなものにする。
- ・持ち物：教科書、ワーク、ノート、Chromebook、三角定規、コンパス

## 4、評価について

○知識・技能：定期テストやその他授業中に行った小テスト、課題等

○思考・判断・表現：定期テストやその他授業中に行った小テスト・課題、学び合い学習への取り組み等

○主体的に学習に取り組む態度：学び合い演習での取り組み、提出物の内容、授業中の取り組み等

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの（80%以上～100%）

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの（40%以上～80%未満）

C：「努力を要する」状況と判断されるもの（40%未満）

を要する」状況と判断されるもの（40%未満）

# 学習の指針

教科名	数学科	学年	3年
-----	-----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

基礎基本を定着させ、グループ学習を通して自分の考えを伝えられるようにする

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	第1章 式の計算 第2章 平方根 第3章 2次方程式 第4章 関数 $y=ax^2$	<ul style="list-style-type: none"><li>展開や因数分解について理解する。</li><li>平方根や平方根の計算の方法を理解する。</li><li>2次方程式について知り、解き方を理解するとともに様々な問題に取り組む。</li><li>新しい関数について知り、グラフ・表・式などから考察できるようになる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>定期テスト</li><li>単元テスト、小テスト</li><li>自己評価</li><li>課題への取り組み</li></ul>
後期	第5章 相似な図形 第6章 円 第7章 三平方の定理 第8章 標本調査 入試演習	<ul style="list-style-type: none"><li>相似や円周角の定理を理解し、様々な問題に取り組む。</li><li>三平方の定理を理解し、平面図形や空間図形まで応用する。</li><li>具体的な事例を通して標本調査について理解する。</li><li>3年間の内容を融合した問題に取り組む。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>定期テスト</li><li>単元テスト、小テスト</li><li>自己評価</li><li>課題への取り組み</li></ul>

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- 自分の考えを言葉で伝えたり、表現したりすることができるよう意識する。
- 聞くときは聞く、聞くときは聞くというメリハリをつける。
- 解き方だけでなく、「なぜそうなるのか」を大切にし、考えながら授業に取り組む。
- 単元ごとに単元テストを行うので、計画的にワークを進め授業の復習をする。
- 週末に家庭学習用の宿題プリントを配布する。

## 4、評価について

- 知識・技能：定期テスト、単元テスト・小テスト
- 思考・判断・表現：定期テスト、単元テスト、記述テスト、授業中の発言内容、レポート
- 主体的に学習に取り組む態度：課題への取り組み、振り返り、レポート、単元テスト
  - A：「十分満足できる」状況と判断されるもの（80%以上～100%）
  - B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの（40%以上～80%未満）
  - C：「努力を要する」状況と判断されるもの（40%未満）

# 学習の指針

教科名	理科	学年	1年
-----	----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・積極的に授業、観察・実験に取り組むことができる。
- ・計画・実行・振り返りを行い、自ら学ぼうとする姿勢を身に付けることができる。
- ・観察・実験への取り組みから、科学的な見方・考え方を育み、自分の言葉で表現することができる。
- ・授業を通して、身近な事物・現象に疑問や興味を持ち、発展的に協同で問題・課題解決ができる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	単元1 いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類 2章 植物の体の共通点と相違点 3章 動物の体の共通点と相違点 単元2 身の回りの物質 1章 さまざまな物質とその見分け方 2章 気体の性質 3章 水溶液の性質 4章 物質の状態変化	・生物の観察と分類方法を学び、観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・植物の体のつくりとはたらきを調べる。 ・いろいろな生物の共通点や相違点を見出し、分類するための基準を見つける。 ・身のまわりの物質の性質に着目し、様々な観点から調べる。 ・実験器具の使い方を身に付ける。物質のすがたや状態変化を理解する。 ・物質の状態変化によって体積が変化するが質量は変化しないことを見出す。 ・溶質、溶媒、溶液について調べる。	・定期テスト ・小テスト ・実験レポートの結果、考察 ・ノート、ワーク、課題などの提出物 ・授業、観察、実験の取り組み ・計画と振り返り
後期	単元3 光・音・力 1章 光の性質 2章 音の性質 3章 力のはたらき 単元4 大地の成り立ちと変化 序章 身近にある地形・地層・岩石を観察しよう 1章 大地の歴史と地層 2章 火山活動と火成岩 3章 地震と大地の変化 4章 大地の躍動と恵み	・光の性質について調べる。 ・音の性質について調べる。 ・力の性質について調べる。  ・火山の成り立ちと噴出物の特徴について調べる。 ・地震について調べる。 ・地層と岩石の特徴を調べる。 ・大地の変化について調べる。	・定期テスト ・小テスト ・実験レポートの結果、考察 ・ノート、ワーク、課題などの提出物 ・授業、観察、実験の取り組み ・計画と振り返り

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・理科室への移動はチャイムが鳴るまでに行なう。
- ・ノートは、A4サイズでプリント類はきちんと記入し、順番通りにきれいにノートに貼る。
- ・積極的に授業、実験に取り組み、話はしっかりと聞き、わからることは必ず質問する。
- ・観察・実験の説明、注意事項はしっかりと聞き、安全に作業する。また、実験は原則立って行なう。
- ・実験、観察の後片付けをきちんと行なう。
- ・黒板に書かれた内容（板書）については、ノートにメモを取る。
- ・コミュニケーションをたくさんとり、自分なりの考えや意見を共有し、他の人の考えに触ることで、自分の考えを深化させる。

## 4、評価について（各教科の通知表の観点別評価について）

\*知識・技能 : 実験結果や結果の処理、レポート、演習の記入内容、パフォーマンステスト  
定期試験や小テストや章末テストの得点

\*思考・判断・表現 : 実験の考察の内容、定期試験や小テストの得点、レポートの内容

\*主体的に学習に取り組む態度：予習の内容、計画と振り返り、課題の取り組み、小テストの得点、ノートやワークなどの提出物の内容や実験のプリントの記入内容。

### ◎各観点到達度の割合

A :「十分満足できる」状況と判断されるもの (80%以上～100%)

B :「おおむね満足できる」状況と判断されるもの (40%以上～80%未満)

C :「努力を要する」状況と判断されるもの (40%未満)

# 学習の指針

教科名	理科	学年	2年
-----	----	----	----

## 1、教科学習の目標（生徒の学習目標・めあて）

- ・積極的に授業、観察・実験に取り組むことができる。
- ・計画・実行・振り返りを行い、自ら学ぼうとする姿勢を身に付けることができる。
- ・観察・実験への取り組みから、科学的な見方・考え方を育み、自分の言葉で表現することができる。
- ・授業を通して、身近な事物・現象に疑問や興味を持ち、発展的に協同で問題・課題解決ができる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	1. 化学変化と原子・分子 1章:化学変化と物質の成り立ち 2章:いろいろな化学変化 3章:化学変化と物質の質量  2. 生物の体のつくりとはたらき 1章:生物の細胞と個体 2章:植物の体のつくりとはたらき 3章:動物の体のつくりとはたらき	・化学変化を理解する。(分解、化合) ・化学変化を化学反応式で書く。 ・化学変化において、発熱反応と吸熱反応があることを理解する。 ・質量保存の法則を見いだす。 ・生物の体を作る細胞のつくりと植物と動物の細胞の違いを理解する。 ・植物の光合成の仕組みと行なわれる場所と根茎葉のつながり理解する。 ・動物の栄養の取り方、消化吸收と呼吸の仕方や血液循環の仕組みや様々な行動と反応の仕組みを理解する。	・定期テスト ・小テスト ・実験レポートの結果、考察 ・ノート、ワーク、課題などの提出物 ・授業、観察、実験の取り組み ・計画と振り返り
後期	3. 電流とその利用 1章:電流と電圧 2章:電流と磁界 3章:静電気と電流  4. 気象のしくみと天気の変化 1章:気象の観測 2章:空気中の水の変化 3章:低気圧と天気の変化 4章:日本の気象 5章:大気の躍動と恵み	・直列回路と並列回路における、電流、電圧、抵抗のちがいを理解する。 ・電流が磁界から受ける力、直流と交流のちがいを理解する。 ・静電気について理解し、電流の正体が電子の流れであることを学び、放射線も粒子であること知る。 ・身近な場所の気象(天気の変化)を理解する。 ・気圧の意味と求め方を理解し、気圧の差を埋め合わせる自然現象が風であることを学ぶ。 ・空気中に含まれる水蒸気の量を求め、雲、雨、雪のでき方を理解する。また、気団と前線の関係も理解する。	・定期テスト ・小テスト ・実験レポートの結果、考察 ・ノート、ワーク、課題などの提出物 ・授業、観察、実験の取り組み ・計画と振り返り

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール(約束)・持ち物・宿題について

- ・理科室への移動はチャイムが鳴るまでに行なう。
- ・ノートは、A4サイズでプリント類はきちんと記入し、順番通りにきれいにノートに貼る。
- ・積極的に授業、実験に取り組み、話はしっかりと聞き、わからることは必ず質問する。
- ・観察・実験の説明、注意事項はしっかりと聞き、安全に作業する。また、実験は原則立って行なう。
- ・実験、観察の後片付けをきちんと行なう。
- ・黒板に書かれた内容(板書)については、必ずノートに記録する。必要に応じてノートにメモを取る。
- ・コミュニケーションをたくさんとり、自分なりの考えや意見を大きな声で発表し、自分の考えを深化させる。

## 4、評価について(各教科の通知表の観点別評価について)

- \* 知識・技能 : 実験結果や結果の処理、レポート、演習の記入内容、パフォーマンステスト  
定期試験や小テストや章末テストの得点
- \* 思考・判断・表現 : 実験の考察の内容、定期試験や小テストの得点、レポートの内容
- \* 主体的に学習に取り組む態度 : 予習の内容、計画と振り返り、課題の取り組み、小テストの得点、ノートやワークなどの提出物の内容や実験のプリントの記入内容。  
自己評価や取り組む意欲

### ◎各観点到達度の割合

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| A : 「十分満足できる」状況と判断されるもの   | (80%以上～100%)  |
| B : 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの | (40%以上～80%未満) |
| C : 「努力を要する」状況と判断されるもの    | (40%未満)       |

# 学習の指針

教科名	理科	学年	3年
-----	----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・積極的に授業、観察・実験に取り組むことができる。
- ・計画・実行・振り返りを行い、自ら学ぼうとする姿勢を身に付けることができる。
- ・観察・実験への取り組みから、科学的な見方・考え方を育み、自分の言葉で表現することができる。
- ・授業を通して、身近な事物・現象に疑問や興味を持ち、発展的に協同で問題・課題解決ができる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	1. 運動とエネルギー 1章:力の合成と分解 2章:水中の物体に加わる力 3章:物体の運動 4章:仕事とエネルギー 2. 生命のつながり 1章:生物の成長とふえ方 2章:遺伝の規則性と遺伝子 3. 自然界のつながり 1章:生物どうしのつながり 2章:自然界を循環する物質 3章:生物の種類の多様性と進化	・複数の力が物体にはたらく時の、力のつり合い・合成・分解を理解する。 ・水中で加わる力の関係を理解する。 ・力と運動の変化の関係について知る。 ・仕事やエネルギーの概念を理解する。 ・親から子へ、どのように生物の特徴を受け継いでいくか理解する。 ・遺伝の仕組みや規則性、遺伝子の本体がDNAであることを理解する。 ・生物同士の横のつながりを理解する。 ・土中の微生物の働きや物質の循環を理解する。 ・さまざまな生物の特徴や歴史から、生物の進化を考える。	・定期テスト ・小テスト ・実験レポートの結果、考察 ・ノート、ワーク、課題などの提出物 ・授業、観察、実験の取り組み ・計画と振り返り
後期	4. 化学変化とイオン 1章:水溶液とイオン 2章:化学変化と電池 3章:酸・アルカリとイオン 5. 地球と宇宙 1章:天体の動き 2章:月と惑星の運動 3章:宇宙の中の地球 6. 地球の明るい未来のために 1章:自然環境と人間 2章:科学技術と人間 3章:これからの私たちの暮らし	・イオンと電流、化学変化の関係を理解する。 ・化学電池の仕組みを理解する。 ・酸、アルカリ水溶液の特性や共通性、中和反応を理解する。 ・地上から見た天体の日周運動、年周運動や見え方を理解する。 ・太陽や月や惑星の特徴を知る。 ・太陽系や銀河系や宇宙の広がりを理解し、宇宙について知る。 ・自然現象と人間との関わりや科学技術の利用、エネルギー問題、自然災害について理解する。	・定期テスト ・小テスト ・実験レポートの結果、考察 ・ノート、ワーク、課題などの提出物 ・授業、観察、実験の取り組み ・計画と振り返り

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・理科室への移動はチャイムが鳴るまでに行なう。
- ・ノートは、A4サイズでプリント類はきちんと記入し、順番通りにきれいにノートに貼る。
- ・積極的に授業、実験に取り組み、話はしっかりと聞き、わからないことは必ず質問する。
- ・観察・実験の説明、注意事項はしっかりと聞き、安全に作業する。また、実験は原則立って行なう。
- ・実験、観察の後片付けをきちんと行なう。
- ・黒板に書かれた内容（板書）については、ノートにメモを取る。
- ・コミュニケーションをたくさんとり、自分なりの考えや意見を共有し、他の人の考えに触れることで、自分の考えを深化させる。

## 4、評価について（各教科の通知表の観点別評価について）

\* 知識・技能 : 実験結果や結果の処理、レポート、演習の記入内容、パフォーマンステスト  
定期試験や小テストや章末テストの得点

\* 思考・判断・表現 : 実験の考察の内容、定期試験や小テストの得点、レポートの内容

\* 主体的に学習に取り組む態度 : 予習の内容、計画と振り返り、課題の取り組み、小テストの得点、ノートやワークなどの提出物の内容や実験のプリントの記入内容。

### ◎各観点到達度の割合

A : 「十分満足できる」状況と判断されるもの (80%以上~100%)

B : 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの (40%以上~80%未満)

C : 「努力を要する」状況と判断されるもの (40%未満)

# 学習の指針

教科名	音楽科	学年	1・2・3年
-----	-----	----	--------

## 1、教科学習の目標・ねらい

音楽についての興味を持って取り組み、音楽に対する能力を高めることができる。

## 2、主な学習内容

学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
1年 ・オリエンテーション ・発声練習 ・基礎学習 ・パート練習 ・齊唱・混声二部・三部合唱 ・送る会の合唱曲 ・鑑賞 ・創作	・授業のルールを知る。 ・声の出し方を理解して実践することができる。 ・日本の歌曲や合唱曲などから、音楽を表現するための基礎知識を理解する。 ・発声の仕方や、合唱のパート練習の仕方を理解する。 ・合唱練習の仕方を理解する。 ・混声二部・三部合唱の響き合いを感じ取ることができる。 ・楽曲の構成と作曲者やその時代の背景について学習し、作曲者の想いなどを感じ取ることができる。	プリント学習 自己評価カード 定期テスト 記譜 歌テスト リズム学習 グループ学習 授業態度 提出物
2年 ・オリエンテーション ・発声練習 ・基礎学習の反復 ・混声三部合唱 ・器楽学習（日本の伝統的な音楽を含む） ・送る会の合唱曲 ・鑑賞 ・創作	・授業のルールを知る。 ・声の出し方を工夫して、響きが出るように実践する。 ・日本の歌曲や合唱曲を通して、基礎学習の確認をする。 ・楽曲の表現の仕方を個人、グループで考えることができる。 ・歌のテストで相互評価する。 ・スケールの大きな楽曲に触れ、楽曲の構成や作曲者、その時代の背景を通して、作曲者の想いや音楽の発展の様子を知る。	プリント学習 自己評価カード 定期テスト 記譜 歌テスト リズム学習 グループ学習 授業態度 提出物
3年 ・オリエンテーション ・発声練習 ・基礎学習の反復 ・混声三部・四部合唱 ・送る会・卒業式関係の合唱曲 ・鑑賞 ・創作	・授業のルールを知る。 ・呼吸(腹式呼吸)によって声の出し方を工夫し、響く声を目指す。 ・楽曲の表現を深められるように基礎学習の確認を継続する。 ・楽曲の曲想を考え、工夫して自信を持って歌えるようにする。 ・歌のテストで相互評価する。 ・日本の伝統的な音楽と西洋の音楽の関わりを知り、楽曲の構成とその背景、作者の想いや音楽の発展の様子を知る。	プリント学習 自己評価カード 定期テスト 記譜 歌テスト リズム学習 グループ学習 授業態度 提出物

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと・学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

1. 忘れ物をしない。
2. 時間に遅れない。
3. 授業での課題や学習内容をしっかりと記録して学習する。
4. グループ学習や音楽の要素学習では協力して学習に取り組む。
5. パート練習では、声質や音量などのポイントを中心に、リーダーに協力して練習に励む。
6. 合唱練習は整列を速やかにし、パート練習が活けるように集中して取り組む。
7. 楽曲の鑑賞は音を立てず、その音楽の時代の背景や内容、作曲者の想いをしっかりと学習する。

## 4、評価について（通知表の観点別評価について）

1. 知識・技能（筆記テスト、表現テスト、作曲課題、授業内での表現による。評価項目はその都度提示する。）
2. 思考・判断・表現（授業内での提出物や、授業内での発言による。根拠を持って歌唱や合唱などで強弱をつけたり、批評したりすることができたか。）
3. 主体的に学習に取り組む態度（授業内での発言及び振り返りカードの記述による。普段から思い切って表現できたか。常に関心をもって熱心に取り組み、課題を自分なりに見つけ、改善することができたか。）

評価 A 80%以上 B 40%以上 C 40%未満

# 学習の指針

教科名	美術科	学年	1・2・3年
-----	-----	----	--------

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・主体的に美術に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造する意欲を高めることができる。
- ・対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、創意工夫して表現することができる。
- ・独創的で個性豊かな発想を心がけ、空間を意識しながら自由な視点で構想できる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字、色の学習</li> <li>・絵の具の使い方</li> <li>・陶芸制作</li> <li>・なりきり美術館</li> <li>・モダンテクニック</li> <li>・鑑賞授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩とデザインの基礎を学ぶ。</li> <li>・伝えるデザインの役割と表現方法について学ぶ。</li> <li>・素材の特性を理解し、道具を使い分けて自分らしい表現を工夫することができる。</li> <li>・鑑賞活動を通して、見方・感じ方を広げることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での様子</li> <li>・学習カード</li> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・ワークシート</li> <li>・作品</li> <li>・作品カード</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルマーク制作</li> <li>・デッサン制作</li> <li>・和菓子制作</li> <li>・自画像制作</li> <li>・鑑賞授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や機能を考えた表現方法について学ぶ。</li> <li>・造形的な見方・感じ方を深めながら、自分らしい主題をみつけ、表現の工夫をすることができる。</li> <li>・具象と抽象の表現の違いについて学ぶ。</li> <li>・鑑賞活動を通して、見方・感じ方を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での様子</li> <li>・学習カード</li> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・ワークシート</li> <li>・作品</li> <li>・作品カード</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はし作り</li> <li>・卒業制作</li> <li>・オリジナル扇子制作</li> <li>・鑑賞授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的な視点を働かせ、材料や用具の特徴を生かしながら創意工夫して表現することができる。</li> <li>・日本の伝統的表現を学び、造形的な視点を働かせ、創意工夫して表現することができる。</li> <li>・鑑賞活動を通して、見方・感じ方を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での様子</li> <li>・学習カード</li> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・ワークシート</li> <li>・作品</li> <li>・作品カード</li> </ul>

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ① 忘れ物をしない。物の貸し借りを友達同士で行わない。
- ② 私語を慎み、制作に集中する。
- ③ 作品の提出期限を守る。
- ④ 材料・道具の扱いに気をつける。

## 4、評価について

### ○知識・技能

造形的な視点を働かせて発想・構想したことを基に、創意工夫して表現することができたか。

### ○思考・判断・表現

造形的な視点を働かせ、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ることができたか。

造形的な視点について理解し、見方・感じ方を広げたり、深めたりすることができたか。

### ○主体的に学習に取り組む態度：

知識や技能を高め、より高度な表現を目指しているか。

試行錯誤しながら発想・構想し、表現につなげる粘り強い取り組みを行うことができたか。

### ○各観点到達度の割合

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの (80%以上～100%)

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの (40%以上～80%未満)

C：「努力を要する」状況と判断されるもの (40%未満)

# 学習の指針

教科名	保健体育科	学年	1年
-----	-------	----	----

## 1、教科学習の目標（生徒の学習目標・めあて）

心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯に渡って運動に親しむ資質や能力を育てると共に、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
男子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体つくり運動</li> <li>・スポーツテスト</li> <li>・陸上競技（短距離走）</li> <li>・球技（バレー・ボール）</li> <li>・球技（ソフトボール）</li> <li>・水泳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の運動能力を知り、体力を高める。</li> <li>・「陸上競技」…記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率の良い動きが出来るようにする。</li> <li>・「球技」…正しいマナー・ルールを覚え、公正な態度で取り組めるようにする。また、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開出来るようにする。</li> <li>・「水泳」…遊泳上の危険事項について正しい知識を身に付けると共に、正しい泳法を身に付けることが出来るようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の身だしなみ</li> <li>・授業中の活動に取り組む姿勢</li> <li>・授業ノート・授業カードへの記入内容</li> <li>・授業内での技能の完成度</li> <li>・スキルテストの評価</li> <li>・筆記テストの評価</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器械運動（マット運動）</li> <li>・ダンス</li> <li>・球技（バスケットボール）</li> <li>・球技（サッカー）</li> <li>・球技（バドミントン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「器械運動」…技が出来る楽しさや喜びを味わい、その技がより良く出来るようにする。</li> <li>・「ダンス」…ダンスの特性や表現の仕方を身に付けさせる。また、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って全身で踊ることが出来るようにする。</li> <li>・上記「球技」参照。</li> </ul>	
女子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体つくり運動</li> <li>・スポーツテスト</li> <li>・球技（バレー・ボール）</li> <li>・陸上競技（短距離走）</li> <li>・水泳</li> <li>・器械運動（マット運動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の運動能力を知り、体力を高める。</li> <li>・上記「球技」参照。</li> <li>・上記「陸上競技」参照。</li> <li>・上記「水泳」参照。</li> <li>・上記「器械運動」参照。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の身だしなみ</li> <li>・授業中の活動に取り組む姿勢</li> <li>・授業ノート・授業カードへの記入内容</li> <li>・授業内での技能の達成度</li> <li>・スキルテストの評価</li> <li>・筆記テストの評価</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技（ソフトボール）</li> <li>・球技（サッカー）</li> <li>・球技（バスケットボール）</li> <li>・球技（ハンドボール）</li> <li>・ダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記「球技」参照。</li> <li>・上記「ダンス」参照。</li> </ul>	

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・勝手な行動をせず、みんなと協力して活動すること。
- ・どの種目も手を抜かず、一生懸命にやること。
- ・怪我をしない、させないこと。
- ・普段から服装を整え、正しい服装で参加すること。（評価に入ります。）

## 4、評価について（各教科の通知表の観点別評価について）

### 【知識・技能】

- 運動のマナーやルールを理解し、守ることができる。
- 健康や安全についての基礎的な事柄を理解している。
- 種目の特性に応じた技能を身につけられる。
- その場の状況に応じた技能を発揮できる。 など

### 【思考・判断・表現】

- 自分の現状を理解し、課題を考え、自分に合った目標を設定できる。
- 工夫して練習計画を立案できる。 など

### 【主体的に取り組む態度】

- 積極的に授業に参加している。
- 友人に対して積極的に助言や援助ができる。
- ルールやマナーを守り、公正な態度で練習やゲームなどに取り組む。 など

【評価】 A…80%以上 B…80%未満～40%以上 C…40%未満

# 学習の指針

教科名	保健体育科	学年	2年
-----	-------	----	----

## 1、教科学習の目標（生徒の学習目標・めあて）

心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯に渡って運動に親しむ資質や能力を育てると共に、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
男子	前 期  ・体つくり運動 ・スポーツテスト ・陸上競技（ハーフ走） ・球技（バレー） ・球技（ハンドボール） ・水泳	・自分の運動能力を知り、体力を高める。 ・「陸上競技」…記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率の良い動きが出来るようにする。 ・「球技」…正しいマナー・ルールを覚え、公正な態度で取り組めるようにする。また、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開出来るようにする。 ・「水泳」…遊泳上の危険事項について正しい知識を身に付けると共に、正しい泳法を身に付けることが出来るようにする。	・授業中の身だしなみ ・授業中の活動に取り組む姿勢 ・授業ノート・授業カードへの記入内容 ・授業内での技能の完成度 ・スキルテストの評価 ・筆記テストの評価
	後 期  ・器械運動（跳び箱運動） ・球技（バドミントン） ・球技（バスケットボール） ・球技（サッカー） ・武道（柔道）	・「器械運動」…技が出来る楽しさや喜びを味わい、その技がより良く出来るようにする。 ・上記「球技」参照。  ・「武道」…場に応じた礼法を正しく身に付けさせる。また、基本となる技能を正しく身に付けられるようにする。	
女子	前 期  ・体つくり運動 ・スポーツテスト ・球技（バレー） ・陸上競技（ハーフ走） ・水泳 ・器械運動（跳び箱運動）	・自分の運動能力を知り、体力を高める。 ・上記「球技」参照。 ・上記「陸上競技」参照。 ・上記「水泳」参照。 ・上記「器械運動」参照。	・授業中の身だしなみ ・授業中の活動に取り組む姿勢 ・授業ノート・授業カードへの記入内容 ・授業内での技能の達成度 ・スキルテストの評価 ・筆記テストの評価
	後 期  ・球技（ハンドボール） ・球技（バドミントン） ・球技（サッカー） ・球技（バスケットボール） ・武道（柔道）	・上記「球技」参照。  ・上記「武道」参照。	

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・勝手な行動をせず、みんなと協力して活動すること。
- ・どの種目も手を抜かず、一生懸命にやること。
- ・怪我をしない、させないこと。
- ・普段から服装を整え、正しい服装で参加すること。（評価に入ります。）

## 4、評価について（各教科の通知表の観点別評価について）

### 【知識・技能】

- 運動のマナーやルールを理解し、守ることができる。
- 健康や安全についての基礎的な事柄を理解している。
- 種目の特性に応じた技能を身につけられる。
- その場の状況に応じた技能を発揮できる。 など

### 【思考・判断・表現】

- 自分の現状を理解し、課題を考え、自分に合った目標を設定できる。
- 工夫して練習計画を立案できる。 など

### 【主体的に取り組む態度】

- 積極的に授業に参加している。
- 友人に対して積極的に助言や援助ができる。
- ルールやマナーを守り、公正な態度で練習やゲームなどに取り組む。 など

【評価】 A…80%以上 B…80%未満～40%以上 C…40%未満

# 学習の指針

教科名	保健体育科	学年	3年
-----	-------	----	----

## 1、教科学習の目標（生徒の学習目標・めあて）

心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯に渡って運動に親しむ資質や能力を育てると共に、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
男 子	前 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体つくり運動</li> <li>・スポーツテスト</li> <li>・陸上競技（走り幅跳び）</li> <li>・球技（バレー・ボール）</li> <li>・球技（バスケットボール）</li> <li>・水泳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の運動能力を知り、体力を高める。</li> <li>・「陸上競技」…記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率の良い動きが出来るようにする。</li> <li>・「球技」…正しいマナー・ルールを覚え、公正な態度で取り組めるようにする。また、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開出来るようにする。</li> <li>・「水泳」…遊泳上の危険事項について正しい知識を身に付けると共に、正しい泳法を身に付けることが出来るようにする。</li> </ul>
	後 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器械運動（マット運動）</li> <li>・ダンス</li> <li>・球技（バドミントン）</li> <li>・球技（サッカー）</li> <li>・球技（卓球）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「器械運動」…技が出来る楽しさや喜びを味わい、その技がより良く出来るようにする。</li> <li>・「ダンス」…ダンスの特性や表現の仕方を身に付けさせる。また、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って全身で踊ることが出来るようにする。</li> <li>・上記「球技」参照。</li> </ul>
女 子	前 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体つくり運動</li> <li>・スポーツテスト</li> <li>・球技（バレー・ボール）</li> <li>・陸上競技（走り幅跳び）</li> <li>・水泳</li> <li>・器械運動（マット運動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の運動能力を知り、体力を高める。</li> <li>・上記「球技」参照。</li> <li>・上記「陸上競技」参照。</li> <li>・上記「水泳」参照。</li> <li>・上記「器械運動」参照。</li> </ul>
	後 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技（バスケットボール）</li> <li>・球技（サッカー）</li> <li>・球技（バドミントン）</li> <li>・球技（ソフトテニス）</li> <li>・ダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記「球技」参照。</li> <li>・上記「ダンス」参照。</li> </ul>

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・勝手な行動をせず、みんなと協力して活動すること。
- ・どの種目も手を抜かず、一生懸命にやること。
- ・怪我をしない、させないこと。
- ・普段から服装を整え、正しい服装で参加すること。（評価に入れます。）

## 4、評価について（各教科の通知表の観点別評価について）

### 【知識・技能】

- 運動のマナーやルールを理解し、守ることができる。
- 健康や安全についての基礎的な事柄を理解している。
- 種目の特性に応じた技能を身につけられる。
- その場の状況に応じた技能を発揮できる。など

### 【思考・判断・表現】

- 自分の現状を理解し、課題を考え、自分に合った目標を設定できる。
- 工夫して練習計画を立案できる。など

### 【主体的に取り組む態度】

- 積極的に授業に参加している。
- 友人に対して積極的に助言や援助ができる。
- ルールやマナーを守り、公正な態度で練習やゲームなどに取り組む。など

【評価】 A…80%以上 B…80%未満～40%以上 C…40%未満

# 学習の指針

教科名	家庭科	学年	1・2・3年
-----	-----	----	--------

## 1、教科学習の目標・ねらい

- 1年 健康で安全な食生活の知識と技能を身に付ける。  
 2年 清潔で豊かな衣生活の知識と技能を身に付ける。住まい方のルールを考え、健康で快適な生活ができる。  
 3年 自分の成長を振り返り、幼児の成長を理解する。賢い消費者としての基礎知識を身に付ける。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
1年生	中学生になるまでに 私たちと家族・家庭と地域 食生活を自分の手で 健康と食生活 栄養と健康 食材にこだわる 実習の準備 実習をしよう  気持よく住む 住まいについて考える 健康で快適な環境を整える	・自分の成長と家族や周囲の人々とのかかわりがわかる。 ・家庭の働き、よりよい家族関係、地域とのつながりがわかる。 ・毎日の食事・食生活と食事の役割がわかる。 ・栄養素の種類と役割がわかる。 ・中学生の栄養の特質がわかる。 ・生鮮食品、加工食品、食品表示について理解できる。 ・自分の一日分の献立を作成することができる。 ・安全で衛生的な実習ができる。 ・包丁や用具の扱いが適切にできる。調理ができる。  ・住まいの働きと役割、家族と住まいの関係がわかる。 ・室内気候の調節、騒音を防ぐ方法、住まいの安全を考える。	プリント 技能テスト (切り方テスト) 定期テスト レポート
2年生	自分らしく清潔に着る 日常着の活用 日常着の手入れ これから衣生活 自分で衣服を作る 衣服の構成を知る 簡単な衣服を作ろう 衣服を大切にしよう  私たちの消費生活 商品の選択と購入	・自分らしく着る、衣服の計画的な活用と選択ができる。 ・私たちの衣服材料、衣服の手入れと補修方法がわかる。 ・資源や環境に配慮した衣生活がわかる。  ・衣服の成り立ち、衣服の構成がわかる。 ・製作計画を立て、製作物を作製することができる。 ・ミシンの準備、使用ができる。  ・選ぶときの条件、様々な販売方法と支払いがわかる。 ・選ぶときの条件、さまざまな販売方法と支払いがわかる。	プリント 製作 製作計画表 定期テスト レポート
3年生	子どもの成長 幼児と遊び 幼児の成長 幼児の喜ぶものを作ろう 幼児のおやつ  3年間のまとめ	・遊びの意味、遊びの発達、いろいろな遊びの種類がわかる。 ・心の発達や生活習慣がわかる。幼児に役立つ物づくりができる。 ・幼児のおやつ作りを通して幼児期の食生活の特徴がわかる。  ・3年間のまとめができる。	プリント おもちゃ製作 定期テスト レポート

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ①2分前着席を守る。忘れ物をせず、正しい服装で参加する。
- ②教室、用具などを丁寧に安全に使用する。
- ③授業に集中し、積極的に取り組む。

## 4、評価について (A: 80%以上～100%、B 40%以上～80%未満、C 40%未満)

- 知識・技能：テストの点数、作品づくりの技能、調理実習の技能
- 思考・判断・表現：レポートの内容、製作の計画表、ワークの内容、プリントの記述
- 主体的に学習に取り組む態度：振り返り、授業態度、忘れ物、ノート提出、作品提出、ワーク・プリントの記述

# 学習の指針

教科名	技術科	学年	1・2・3年
-----	-----	----	--------

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・ものづくりを通して、課題を解決する力を身に付ける
- ・工具や情報機器を適切に扱い、安全に実習を行うことができる
- ・学習した内容を活かし、自ら思考し判断することができる

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
1年生	ガイダンス 材料と加工の技術 ・材料についての学習 ・製図 ・本立ての製作 ・選択題材の製作 けがき、切断切削、穴あけ、組み立て 仕上げ・塗装	・ガイダンスを通して、技術を学習する意義やものの見方について考えることができる ・材料と加工の技術に関する基本的な知識、技能を習得し、今後の学習や生活に活かすことができる ・選択題材の製作の中で、本立ての製作で学習した内容や工具の使い方をもとに、各々の工夫を入れた作品を完成させる	知・技：ワークシート、作品、テスト 思判表：レポート、作業工程 態度：授業態度、ワークシート、計画表
2年生	ガイダンス エネルギー変換の技術 ・エネルギーについて ・電気について ・電気回路の製作 情報の技術 ・情報セキュリティ ・情報モラル	・ガイダンスを通して、技術を学習する意義やものの見方について考えることができる ・エネルギー変換の技術に関する基本的な知識、技能を習得し、今後の学習や生活に活かせるようにする ・情報の技術に関する基本的な知識、技能を習得し、今後の学習や生活に活かせるようにする	知・技：ワークシート、作品、テスト 思判表：レポート、作業工程 態度：授業態度、ワークシート、計画表
3年生	ガイダンス 生物育成の技術 ・栽培技術 ・育成技術 ・作物の栽培 情報の技術 ・コンピュータについて ・双方向性コンテンツ ・制御による問題解決	・ガイダンスを通して、技術を学習する意義やものの見方について考えることができる ・生物育成の技術に関する基本的な知識、技能を習得し、今後の学習や生活に活かせるようにする ・情報の技術に関する基本的な知識、技能を習得し、今後の学習や生活に活かせるようにする	知・技：ワークシート、作品、テスト 思判表：ワークシート、作業工程、レポート 態度：授業態度、ワークシート、作業工程

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・安全第一で授業に取り組み、常に整理整頓を心がける。
- ・作業を行う際は、事故やけがに注意し、けが防止の観点からジャージの着用を徹底する。

持ち物：教科書、筆記用具、（作業時に必要なもの）、Chromebook

宿題：その都度、連絡をします。

## 4、評価について

- 知識・技能 : ワークシート、作品、テスト
- 思考・判断・表現 : ワークシート、レポート、作業工程
- 主体的に学習に取り組む態度：授業態度、ワークシート、計画表

### ◎各観点到達度の割合

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの (80%以上～100%)

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの (40%以上～80%未満)

C：「努力を要する」状況と判断されるもの (40%未満)

# 学習の指針

教科名	英語科	学年	1年
-----	-----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・積極的に授業に参加し、パフォーマンステストに取り組むことができる。
- ・基礎的な単語および文法知識を理解し、使うことができる。
- ・状況に応じて適切な英語を書いたり、話すことができる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	Get ready Pro.0 アルファベットの確認 Pro.1 be 動詞、疑問詞 where Pro.2 一般動詞、疑問詞 when Pro.3 助動詞 can、疑問詞 what Our Project1 あなたの知らない私。 Pro.4 指示語 this that 及び三人称单数、疑問詞 who Pro.5 三单現	・小学校の復習を兼ね、簡単な英語の応答ができる。 ・音声と文字を理解できるようにする。 ・辞書の引き方に慣れる。 ・一人称と二人称における be 動詞の使い方に慣れる。 ・数字の言い方に慣れる。 ・一人称と二人称における一般動詞の使い方に慣れる。 ・曜日と天気の言い方ができるようにする。 ・助動詞 can を使えるようにする。 ・自分や身の回りの人について表現し、お互いに理解しあう。 ・したいことや行動の目的などを表現する。 ・聞き手に分かりやすく伝え、仲間と積極的にやり取りをする。 ・身近なものや人について指示語を使って説明できる。 ・身近な人について一般動詞の三单現を使って表現する。	プリント グループワーク アクティビティ パフォーマンステスト 定期テスト 単語テスト 単元末テスト 小テスト など
後期	Pro.6 様々な人称の使い方、疑問詞 why とその応答 Pro.7 There is/are の使い方と疑問詞 how Our Project2 この人を知っていますか。 Pro.8 現在進行形 Pro.9 一般動詞の過去形 Pro.10 be 動詞の過去形、過去進行形 Our Project3 私が選んだ 1 枚。	・身近な人について代名詞を使って表現する。 ・身近にあるものについて表現できる。 ・自分が紹介したい人物について表現できる。 ・今していることについて表現でき、コミュニケーションがとれる。 ・過去にあったことについて表現でき、コミュニケーションができる。 ・物語を理解するとともに、be 動詞の過去および過去進行形を使って表現できる。 ・身近な人やものについて今まで学んだ英語の知識を用い表現できる。	プリント グループワーク アクティビティ パフォーマンステスト 定期テスト 小テスト 英作文 など

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・忘れ物をしない。（教科書・ノート・ファイル・ワーク・辞書）
- ・しっかりと声を出して発音する。
- ・間違えることを恐れずに発言する。
- ・積極的に授業に参加する。
- ・自主的に教科書やワークの予習復習を行う。
- ・小テストの準備を行う。

## 4、評価について

○知識・技能：定期テスト、単元テスト、単語テスト、小テストなど

○思考・判断・表現：定期テスト、パフォーマンステスト、発表など

○主体的に学習に取り組む態度：パフォーマンステスト、自主学習、授業態度など

A : 「十分満足できる」状況と判断されるもの（80%以上）

B : 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの（40%以上～80%未満）

C : 「努力を要する」状況と判断されるもの（40%未満）

# 学習の指針

教科名	英語科	学年	2年
-----	-----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・積極的に授業、パフォーマンステストに取り組むことができる。
- ・基礎的な単語および文法知識を理解し、使うことができる。
- ・状況に応じて適切な英語を書いたり、話すことができる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	Pro.1 未来表現 動名詞 Pro.2 接続詞 that, when, if Pro.3 不定詞 Our Project4 海外でヒットするラーメンのCMを作る。 Reading1 The Three Dolls を読む。 Pro.4 助動詞 must, have to	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定やこれからしようと思っていることなどを表現する。</li> <li>・自分の考えなどを具体的な内容と共に表現する。</li> <li>・したいことや行動の目的などを表現する。</li> <li>・聞き手に分かりやすく伝え、仲間と積極的にやり取りをする。</li> <li>・まとまった文章を読み、考えたことを発表する。</li> <li>・「すべきこと」や「してはいけないこと」などを表現する。</li> </ul>	小テスト プリント ポートフォリオ 単元テスト 定期テスト パフォーマンステストなど
後期	Pro.5 疑問詞+to 不定詞、動詞+形容詞、第4文型 Pro.6 比較級 最上級 Our Project5 日本のおすすめスポットを紹介する。 Reading2 トルコと日本の友好関係について読む。 Pro.7 like を使う比較表現 Pro.8 受動態 Our Project6 尊敬する人の魅力を伝える。 Reading3 アポロ 13号について書かれた文章を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かの方法や、人やものの様子などを表現する。</li> <li>・大きさや程度を比べることについて表現する。</li> <li>・読み手に分かりやすい記事を書く。</li> <li>・まとまった文章を読み、世界で起きている事象に目を向ける。</li> <li>・好きなものについて比較表現する。</li> <li>・聞き手に伝わるようなスピーチをする。友だちのスピーチを聞き、感想などを伝える。</li> <li>・まとまった文章を読み、考え方を友だちと話し合い、自分の意見を文章にする。</li> </ul>	小テスト プリント ポートフォリオ 単元テスト 定期テスト パフォーマンステストなど

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・忘れ物をしない。（教科書・ノート・ファイル・ワーク・辞書）
- ・しっかりと声を出して発音する。
- ・間違えることを恐れずに発言する。
- ・積極的に授業に参加する。
- ・自主的に教科書やワークの予習復習を行う。
- ・小テストの準備を行う。

## 4、評価について

- 知識・技能：定期テスト、単元テスト、単語テスト、小テストなど
- 思考・判断・表現：定期テスト、パフォーマンステスト、発表など
- 主体的に学習に取り組む態度：パフォーマンステスト、自主学習、授業態度など

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの（80%以上）

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの（40%以上～80%未満）

C：「努力を要する」状況と判断されるもの（40%未満）

# 学習の指針

教科名	英語科	学年	3年
-----	-----	----	----

## 1、教科学習の目標・ねらい

- ・積極的に授業、パフォーマンステストに取り組むことができる。
- ・基礎的な単語および文法知識を理解し、使うことができる。
- ・状況に応じて適切な英語を書いたり、話すことができる。

## 2、主な学習内容

	学習内容	学習のねらい	評価内容・場面
前期	2年までの復習 Pro. 1 ask ~ to do It is ~ (for + 人) to do. 現在完了形（経験） Pro. 2 現在完了形(完了・継続) 現在完了進行形 Pro. 3 〈S+V+人+that ~〉 〈S+V+O+C〉 〈S+V+O+動詞の原形〉 Our Project 7 Reading1 Pro. 4 分詞の後置修飾 間接疑問文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年の文法を復習する。</li> <li>・文型の形を理解し、それを使って表現できる。</li> <li>・すでにし終えたことや経験したこと、過去から現在まで続いていることを表現する。</li> <li>・ポスターセッションの流れについての理解をもとに、対話の概要や要点について聞き取る。</li> <li>・環境問題について考える。</li> <li>・ディスカッションの流れや意見の主張の仕方を理解する。</li> </ul>	小テスト プリント 授業内のアクティビティー 単元テスト 定期テスト パフォーマンステストなど
後期	Pro. 5 関係代名詞(主格) Pro. 6 関係代名詞(目的格) Our Project 8 Program7 仮定法過去 Reading2 Special Project Further Reading	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人や物をより詳しく説明して表現できる。</li> <li>・ディスカッションで、理由を挙げながら積極的に意見交換をする。</li> <li>・現在の事実と違う仮定や願望を表現する。</li> <li>・世界平和や教育の重要さについて自分の現状と比較し考える。</li> <li>・今までに習った内容を使って中学校生活を振り返り、英作文をする。</li> </ul>	小テスト プリント 授業内のアクティビティー 単元テスト 定期テスト パフォーマンステストなど

## 3、授業を受ける時に大切にしてほしいこと 学習のルール（約束）・持ち物・宿題について

- ・忘れ物をしない。（教科書、ノート、ファイル、ワーク、辞書、chrome book）
- ・英語はしっかりと声を出して発音する。 •間違えることを恐れずに発言する。
- ・積極的に授業に参加する。 •自主的に教科書やワークの予習復習を行う。
- ・小テストの準備を行う。

## 4、評価について

○知識・技能：定期テスト、単元テスト、単語テスト、小テストなど

○思考・判断・表現：定期テスト、パフォーマンステスト、発表など

○主体的に学習に取り組む態度：パフォーマンステスト、自主学習、授業態度など

### ◎各観点到達度の割合

A :「十分満足できる」状況と判断されるもの (80%以上)

B :「おおむね満足できる」状況と判断されるもの (40%以上~80%未満)

C :「努力を要する」状況と判断されるもの (40%未満)